

外来がん薬物療法施行患者に対する お薬手帳シールの記載内容と詳細について

国立研究開発法人 国立国際医療研究センター病院 薬剤部

2019年12月19日 Ver.1

国立国際医療研究センター病院(以下、当院)薬剤部では、外来がん薬物療法における保険薬局との連携の強化に努めています。

その一環として、2019年1月21日より、外来にて注射によるがん薬物療法を受けられている患者さんに、レジメンの詳細や当院薬剤師からのコメントなどを記載した「お薬手帳シール」の配布を開始しました。現在、お薬手帳シールの配布対象としている患者さんは、以下の通りですが、今後、順次拡大していくことを予定しています。

【配布対象】

当院消化器内科小島康志医師が担当している患者さんのうち、

- 注射抗がん薬と内服抗がん薬を併用したレジメンで治療中の患者さん
- 本取り組みに関して、同意が得られた患者さん

本取り組みに関して、お薬手帳シールに記載している内容と、その詳細・略語について、保険薬局の薬剤師の皆様向けに説明書を作成いたしました。

説明書の内容は適宜、追記・更新を行ってまいります。

ID：00000000 コクサイタロウ様

BV+CapeOX③ (大腸)

BSA○m², ○kg

Cape ★mg/day (100%相当) day1夕-15朝

BV 7.5mg/kg × ○kg = ★mg (100%相当) day1

L-OHP 130mg/m² × ○m² = ★mg (100%相当) day1
3週毎

2018/06/01 BV+CapeOX① (治療開始日)

2018/06/22 BV+CapeOX② (前回)

2018/07/13 BV+CapeOX③ (今回)

指導薬剤師からのコメント

- ・投与量が減量になった場合はその理由
- ・新たな支持療法薬の追加理由
- ・服薬アドヒアランスの状況

などの特記事項を記載します。

検査値を確認の上、調剤お願いします。

指導薬剤師： _____

■ レジメン名

基本的には略語で記載します。

■ がん種

部位のみにとどめ、「がん」という記載はしません。

■ BSA (体表面積) ・ kg

BSA ・ kgは、抗がん薬オーダーに使用されている値を記載します。

(つまり、治療当日の値とは限りません。)

■ 検査値

検査結果は患者さんから保険薬局に提示してもらいます。

■ レジメンの詳細

標準投与量は当院登録レジメンをもとに記載します。

(一部例外あり)

相対投与量は「○○%相当」と記載します。

(つまり、正確な値とは限りません。)

■ 治療歴

現レジメンの開始日・前回・今回の3時点を記載します。

■ 指導薬剤師からのコメント

特記事項がある際に記載します。

ID：00000000 コクサイタロウ様

BV+CapeOX③ (大腸)

BSA○m², ○kg

Cape ★mg/day (100%相当) day1夕-15朝

BV 7.5mg/kg × ○kg = ★mg (100%相当) day1

L-OHP 130mg/m² × ○m² = ★mg (100%相当) day1
3週毎

2018/06/01 BV+CapeOX① (治療開始日)

2018/06/22 BV+CapeOX② (前回)

2018/07/13 BV+CapeOX③ (今回)

指導薬剤師からのコメント

- ・投与量が減量になった場合はその理由
- ・新たな支持療法薬の追加理由
- ・服薬アドヒアランスの状況

などの特記事項を記載します。

検査値を確認の上、調剤お願いします。

指導薬剤師： _____

■ 投与量について

各抗がん薬や適応によって、投与量の適正を判断する必要があります。

各抗がん薬の投与量は、標準投与量に対して、

- ✓ 固定用量である場合
 - ✓ BSA(体表面積)換算で算出する場合
 - ✓ 体重換算を行う場合
- の3パターンがあります。

■ 投与量の減量について

投与量を減量する理由として、大きく分けて

- ✓ 何かしらの有害事象が理由である場合
 - ✓ 全身状態(PS)などを考慮し担当医が判断している場合
- の2パターンがあります。

そこで、投与量は下記例のように記載をいたします。
投与量の減量理由は、「指導薬剤師からのコメント」欄に記載をいたします。

記載例 (1.25m² < BSA < 1.5m² の場合)

標準投与量 S-1 100mg/day(100%相当)

減量の場合 S-1 80mg/day(1段階減量)

お薬手帳シールの記載内容の詳細

2019年12月19日
国立国際医療研究センター病院薬剤部

ID: 00000000 コクサイタロウ様

BV+CapeOX③ (大腸)

BSA○m², ○kg

Cape ★mg/day (100%相当) day1夕-15朝

BV 7.5mg/kg × ○kg = ★mg (100%相当) day1

L-OHP 130mg/m² × ○m² = ★mg (100%相当) day1
3週毎

2018/06/01 BV+CapeOX① (治療開始日)

2018/06/22 BV+CapeOX② (前回)

2018/07/13 BV+CapeOX③ (今回)

指導薬剤師からのコメント

- ・ 投与量が減量になった場合はその理由
- ・ 新たな支持療法薬の追加理由
- ・ 服薬アドヒアランスの状況

などの特記事項を記載します。

検査値を確認の上、調剤お願いします。

指導薬剤師: _____

■ 投与スケジュールについて

レジメンによって、同一抗がん薬であっても投与スケジュールが異なる場合があります。

そこで、投与スケジュールは下記例のように記載をいたします。

投与スケジュールが調整されている場合、「施行歴」欄または「指導薬剤師からのコメント」欄に理由を記載いたします。

	表記方法(●:数字)	表記例
コース数 (化学療法施行回数)	#● #(レジメン名)●	#1 #BV+CapeOX③
日数 (各コースの初日をday1として、 投与日や副作用発現日を表す)	day● day●夕-day●朝	day1 day1夕-15朝
クール週数 (1クール=投与期間+休薬期間)	●週毎 q●w	3週毎 q3w
投与回数の上限 (術前/術後化学療法などの場合)	●courses ●回	8courses 8回

お薬手帳シールの略語①

2019年12月19日

国立国際医療研究センター病院薬剤部

抗がん薬（お薬手帳対象レジメンに含まれる薬）	
一般名略称	一般名
Cape	カペシタビン
S-1	テガフル・ギメラシル・オテラシル
TAS-102	トリフルリジン・チピラシル
L-OHP	オキサリプラチン
CPT-11	イリノテカン
CDDP	シスプラチン
GEM	ゲムシタビン
BV	ベバシズマブ
Tmab	トラスツズマブ

レジメン名	
略称	抗がん薬の組み合わせ
CapeOX	Cape + L-OHP
IRIS	S-1 + CPT-11
SOX	S-1 + L-OHP
Adj-レジメン名	Adj-とは術後化学療法のこと
NAC-レジメン名	NAC-とは術前化学療法のこと

原則、上記以外の略語を記載することはありません。
適宜、追記・更新を行います。

血液検査

略称	検査項目
WBC	白血球
Neutro	好中球
Hgb	ヘモグロビン
PLT	血小板
T-Bil	総ビリルビン
AST・ALT	肝酵素
SCr	血清クレアチニン
Ccr	クレアチンクリアランス

有害事象

略称(英語)	日本語
FN(Febrile Neutropenia)	発熱性好中球減少症
Neutropenia	好中球減少
HFS(Hand-Foot Syndrome)	手足症候群
CIPN(Chemotherapy-Induced Peripheral Neuropathy)	化学療法誘発性末梢神経障害

原則、上記以外の略語を記載することはありません。
 適宜、追記・更新を行います。